

## NTT 研究開発センターの環境への取り組み

NTT は、サービスイノベーション総合研究所、情報ネットワーク総合研究所、先端技術総合研究所と3つの総合研究所を擁して、ICT にかかわるさまざまな研究開発を行っています。

これら三総合研究所は、2020年にむけて制定したNTT グループ環境ビジョン「THE GREEN VISION 2020」のもと、ICTの発展に貢献しながら、環境負荷低減に努めております。

そして、エネルギーおよび資源などの有効利用、廃棄物リサイクルの推進、グリーン製品購入の推進、化学物質の適正管理などに加え、環境に貢献する研究開発成果の創出、提供に、環境マネジメントシステムの運用の中で取り組んでいます。

## 環境マネジメントシステムの統合

これまで、3つの総合研究所が個々にISO14001 認証を取得し、維持していた環境マネジメントシステムでしたが、より効果的・効率的な運用を実現するため、2014年度より3つの環境マネジメントシステムを統合し、新しい体制で運用を開始しました。

これからは、3つの総合研究所が一つの環境方針に則り、各研究所が協力し環境保護活動を推進していきます。

また、2013年度までは、各総合研究所で発行していた環境レポートも、1冊の環境レポートに集約しました。

本レポートでは、統合した環境マネジメントシステムについて特集で紹介していますので、ぜひご覧ください。

## 積極的に環境保護活動を推進

NTT グループは、ICT サービスの利活用によって社会全体でのCO<sub>2</sub> 排出量削減に貢献する「Green by ICT」、自らが事業活動にともなう環境負荷の低減に努める「Green of ICT」、グループの社員やその家族が、地域とともにさまざまな環境保護活動に貢献する「Green with Team NTT」の3つのアクションにより、環境負荷の低減に貢献しています。

そして、研究開発において、環境に貢献する技術の開発に取り組むとともに、地域の皆さまとのコミュニケーションを大切にし、地域貢献活動も継続的に行います。

本レポートをご一読いただき、忌憚のないご意見ならびにご支援をいただきますようお願い申し上げます。



サービスイノベーション総合研究所  
所長 藤田 敏昭



情報ネットワーク総合研究所  
所長 渡部 信幸



先端技術総合研究所  
所長 村瀬 淳